

米国メジャー企業債ファンド

(愛称) **米国メジャー**

追加型投信／海外／債券

第4期 2019年8月5日決算

作成対象期間 (2019年2月5日～2019年8月5日)

第4期末 (2019年8月5日)	
基準価額	10,088円
純資産総額	275百万円
第4期	
騰落率	+4.9%
分配金	15円

*騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

◆運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

◆当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)については、以下の手順で閲覧およびダウンロードすることができます。

<閲覧方法>

<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/> にアクセス→
ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

受益者の皆様へ

毎々、格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて「米国メジャー企業債ファンド(愛称:米国メジャー)」は、このたび、第4期の決算を行いました。

当ファンドは、米国メジャー企業債マザーファンドへの投資を通じて、主として米国のメジャー企業が発行する米ドル建ての社債等に投資を行うことにより、信託財産の成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

- 口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 運用報告書についてのお問い合わせ
フリーダイヤル 0120-88-2976
受付時間:午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

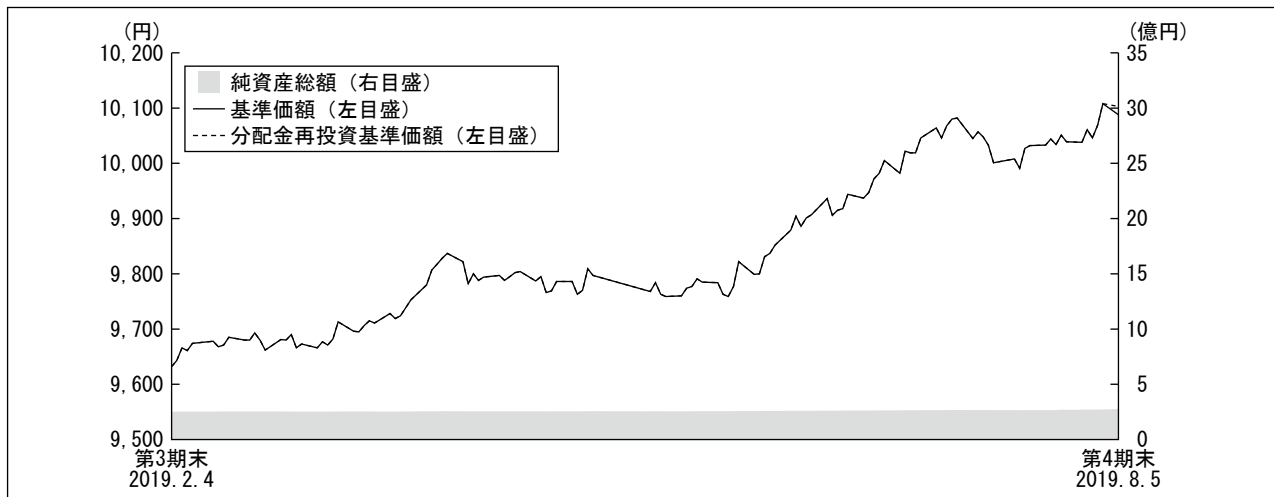


三井住友DSアセットマネジメント

(旧:大和住銀投信投資顧問)
〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1
<https://www.smd-am.co.jp>

運用経過

【基準価額等の推移】



*当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

*分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を基準に算出しております。

*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

第4期首：9,632円

第4期末：10,088円（既払分配金 15円）

騰落率：+4.9%（分配金再投資ベース）

【基準価額の主な変動要因】

当ファンドは、米国メジャー企業債マザーファンドへの投資を通じて、主として米国のメジャー企業が発行する米ドル建ての社債等に投資を行いました。

（上昇要因）

社債のインカムゲインやキャピタルゲインが要因となりました。

（下落要因）

米ドルの対円での下落が要因となりました。

【1万口当りの費用明細】

項目	当 期		項目の概要
	2019年2月5日～2019年8月5日		
	金額	比率	
信託報酬	37円	0.372%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,874円です。
(投信会社)	(18)	(0.178)	ファンドの運用等の対価
(販売会社)	(18)	(0.178)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(2)	(0.016)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
その他費用	2	0.023	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.010)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.005)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(1)	(0.008)	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	39	0.395	

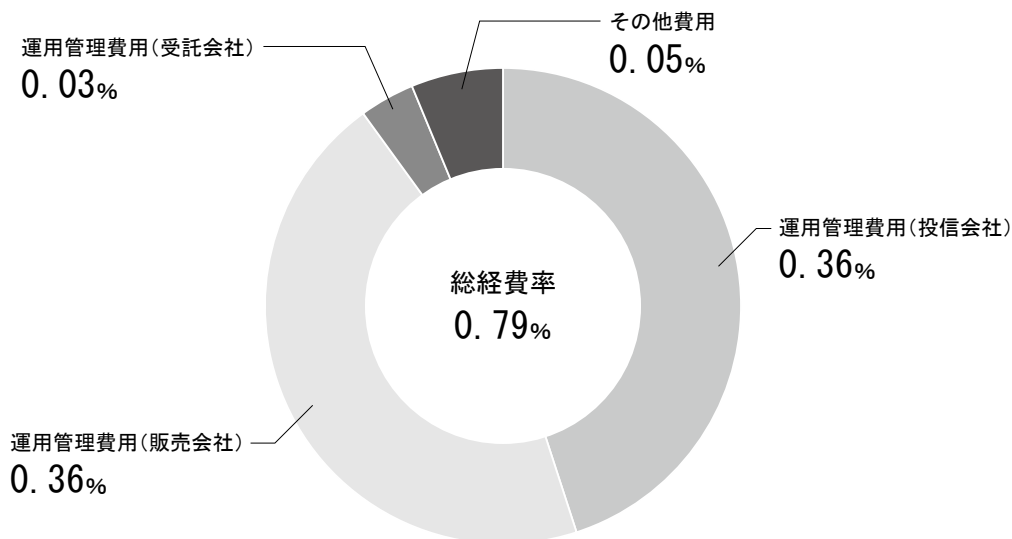
* 「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託受益証券が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

* 各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

参考情報 総経費率（年率換算）



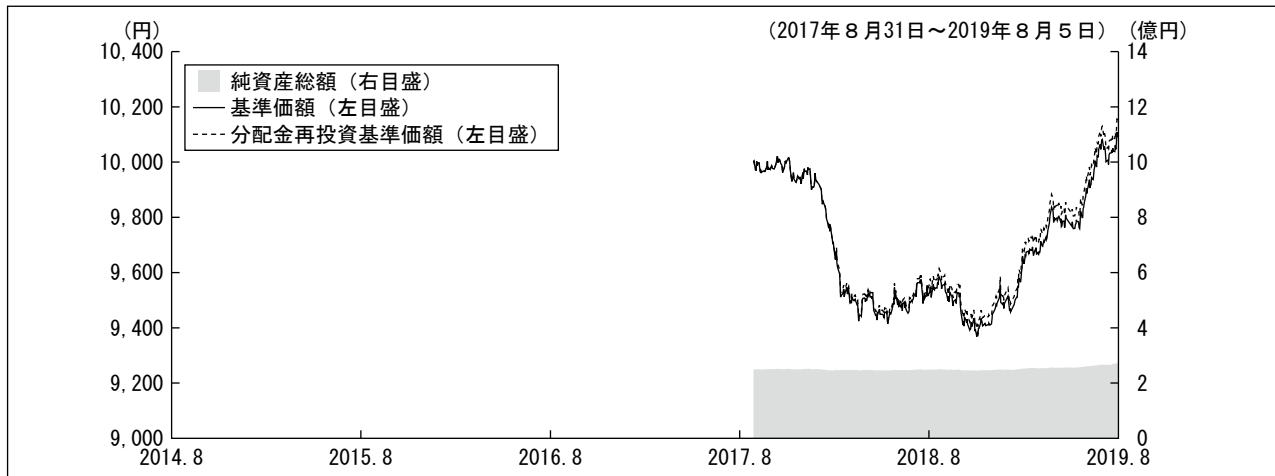
*各費用は、前掲「1万口当りの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

*各比率は、年率換算した値（小数点以下第2位未満を四捨五入）です。

*上記の前提条件で算出しているため、「1万口当りの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率換算）は0.79%です。

【最近5年間の基準価額等の推移】



*当ファンドの設定日(2017年8月31日)より表示しております。

*設定日の基準価額は設定価額を、純資産総額は当初設定元本を表示しております。

*当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

*分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

	2017年8月31日 設定日	2018年8月3日 決算日	2019年8月5日 決算日
基準価額 (円)	10,000	9,517	10,088
期間分配金合計(税込み) (円)	—	30	30
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△4.5	6.3
純資産総額 (百万円)	250	248	275

【投資環境】

米ドル建て社債のスプレッドは前期末対比で小幅に縮小した一方、ベース金利に相当する米国債利回りは大幅に低下し、社債利回りも大幅に低下（価格は上昇）となりました。

社債スプレッドは、期初から4月にかけては縮小傾向でした。米中貿易交渉に進捗が見られていたことや、米中の経済指標が底堅かったため、景気減速懸念が一時的に後退しました。しかし5月には早期決着すると期待されていた米中貿易交渉の合意の可能性が後退し、さらに米国が対中追加関税の引き上げを表明したことでリスクオフとなり、社債スプレッドは拡大に転じました。一方、米国債利回りは大幅に低下し、社債利回りも低下しました。その後、6月以降はFRB（米連邦準備制度理事会）やECB（欧州中央銀行）のハト派化に対する期待から社債スプレッドは縮小に転じ、米国債利回りにも低下圧力がかかる展開となり、社債利回りは低下基調が続きました。

【ポートフォリオ】

■米国メジャー企業債ファンド

主要投資対象である米国メジャー企業債マザーファンドを期を通じて高位に組み入れ、期末の実質的な公社債組入比率は92.3%としました。

■米国メジャー企業債マザーファンド

当期の騰落率は、+4.0%となりました。

米国の優良企業が発行する米ドル建て社債に投資を行い、安定したインカムゲインの確保を目指しました。セクターアロケーションにおいては、特に安定したキャッシュフローの創出が期待できる生活必需品セクターやヘルスケアセクターへの配分を高位に維持しました。個別銘柄では、航空機の墜落事故を受けてボーイングを売却し、ユニバーサルスタジオジャパンなどで日本人にも馴染みがあるコムキャスト等を組み入れました。

【ベンチマークとの差異】

当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

【分配金】

分配金は、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、1万口当り15円（税込み）とさせて頂きました。なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

■分配原資の内訳

（1万口当り・税引前）

項目	第4期	
	2019年2月5日 ～2019年8月5日	
当期分配金 (円)		15
(対基準価額比率) (%)		0.15
当期の収益 (円)		15
当期の収益以外 (円)		—
翌期繰越分配対象額 (円)		358

※円未満を切り捨てしているため、「当期分配金」は「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計額と一致しない場合があります。
※当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■米国メジャー企業債ファンド

引き続き、運用の基本方針に従い、マザーファンドへの投資を通じて、主として米国のメジャー企業が発行する米ドル建ての社債等に投資を行うことにより、信託財産の成長を目指して運用を行います。

■米国メジャー企業債マザーファンド

社債市場では、8月初めにトランプ米大統領が再び対中関税引き上げを表明したことからスプレッドが拡大した一方、ベースとなる米国債利回りには強い低下圧力となり、社債利回りは低下（価格は上昇）しています。足元の米中対立激化の影響で景気減速や企業業績減速への懸念が高まっている一方、金融市場ではFRBをはじめ中央銀行のハト派化への期待が高まっており、当面は、社債利回りは低下しやすい展開が続くと予想しています。当ファンドでは、引き続き、キャッシュフローの安定している発行体の社債を中心に投資を行っていく方針です。

お知らせ

大和住銀投信投資顧問株式会社は、2019年4月1日に三井住友アセットマネジメント株式会社と合併し、三井住友DSアセットマネジメント株式会社となりました。

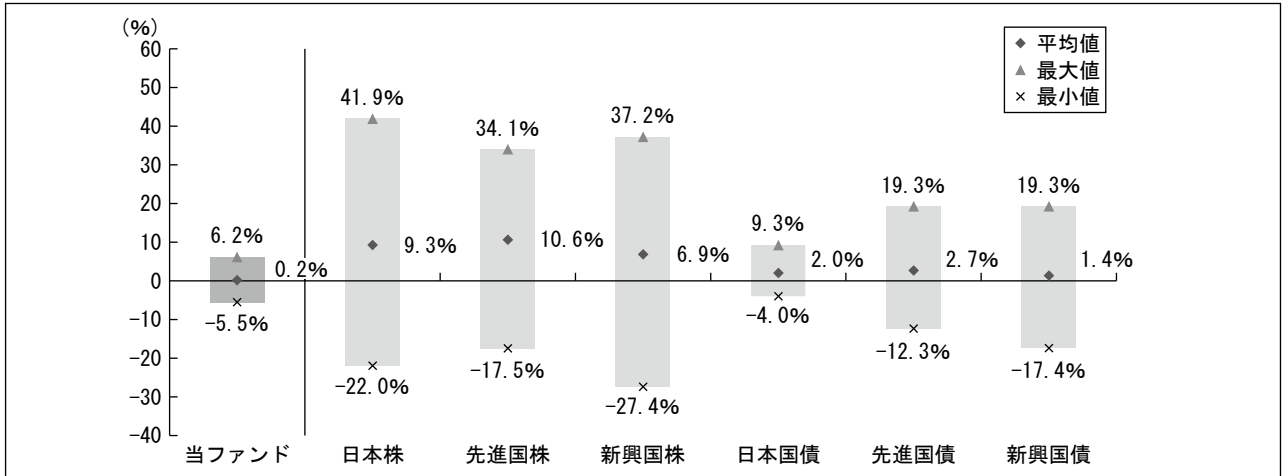
委託会社の合併に伴い、ファンドの委託者の商号ならびに公告の方法を変更することに伴う所要の約款変更を行いました。（2019年4月1日付）

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2017年8月31日～2027年8月3日（約10年）	
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、主として米国のメジャー企業が発行する米ドル建ての社債等に投資を行うことにより、信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	米国メジャー企業債マザーファンド受益証券
	米国メジャー企業債マザーファンド	優良企業の発行する米ドル建ての社債
当ファンドの運用方法	<ul style="list-style-type: none"> 運用はファミリーファンド方式で行います。 「メジャー企業」とは、財務基盤、収益性、企業価値等を総合的に判断し、広く市場で認知されていると三井住友DSアセットマネジメント株式会社が判断する企業を指します。 一部、米国以外の企業が発行する債券にも投資する場合があります。また、米国国債に投資する場合があります。 投資する債券の格付けは、原則として、取得時においてA格相当以上とします。 実質組入外貨建資産については対円での為替ヘッジを行い、為替ヘッジ比率は原則として80%程度とします。 市場環境によっては三井住友DSアセットマネジメント株式会社独自の判断で、為替ヘッジ比率を100%程度まで引き上げる場合があります。 	
分配方針	<p>毎年2月、8月の3日（休業日の場合は、翌営業日）の決算日に、分配金額は経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益も含みます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。</p> <p>* 分配金自動再投資型の場合、分配金は税金を差し引いた後自動的に無手数料で再投資されます。</p>	

【当ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較】

当ファンド：2018年8月～2019年7月
 代表的な資産クラス：2014年8月～2019年7月



●上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

*当ファンドと代表的な資産クラスのデータの期間が異なりますので、ご注意ください。

*全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

*当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

*騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

<各資産クラスの指数について>

資産クラス	指数名	権利者
日本株	TOPIX (配当込み)	株式会社東京証券取引所
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)	MSCI Inc.
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)	MSCI Inc.
日本国債	NOMURA-BPI国債	野村証券株式会社
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)	FTSE Fixed Income LLC
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド (円ベース)	J.P.Morgan Securities LLC

(注) 上記指数に関する著作権等の知的財産権およびその他一切の権利は、各権利者に帰属します。各権利者は、当ファンドの運用に関して一切の責任を負いません。

当該投資信託のデータ

<<当該投資信託の組入資産の内容>>

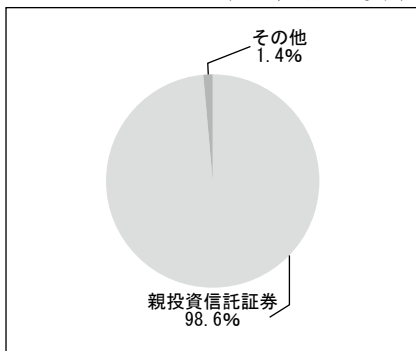
【組入ファンド】

	第4期末（2019年8月5日）
	組入比率
米国メジャー企業債マザーファンド	98.6%

*組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

【資産別配分】

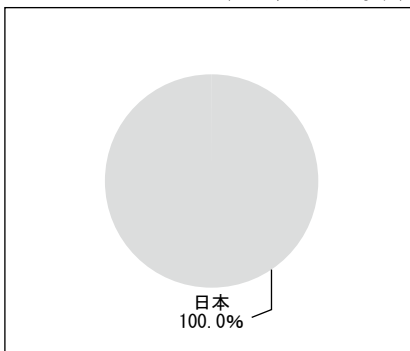
(2019年8月5日現在)



*純資産総額に対する評価額の割合

【国別配分】

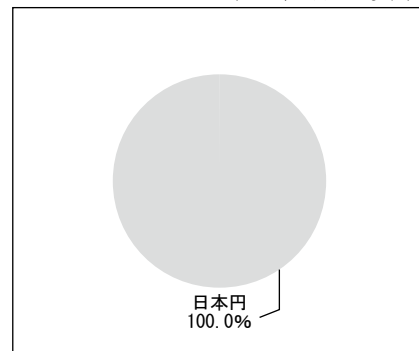
(2019年8月5日現在)



*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

【通貨別配分】

(2019年8月5日現在)



*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

【純資産等】

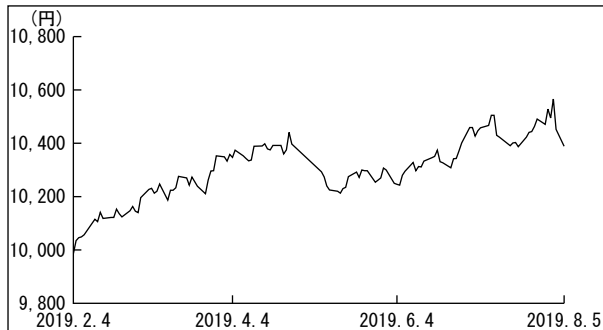
項目	当期末
	2019年8月5日
純資産総額	275,833,237円
受益権総口数	273,416,482口
1万口当り基準価額	10,088円

*当期中における追加設定元本額は15,796,276円、同解約元本額は4,083,791円です。

<<組入ファンドの概要>>

■米国メジャー企業債マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当りの費用明細】

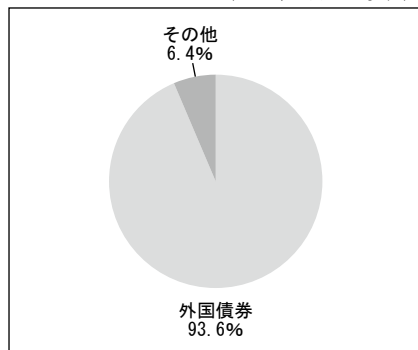
(2019年2月5日～2019年8月5日)

項目	金額
その他費用 (保管費用) (その他)	1円 (1) (0)
合計	1

*費用項目については、2ページの項目の概要をご参照ください。
 *期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
 *円未満は四捨五入しています。

【資産別配分】

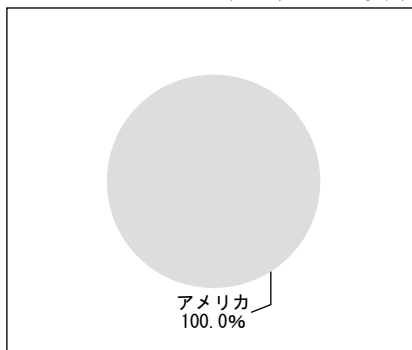
(2019年8月5日現在)



*純資産総額に対する評価額の割合

【国別配分】

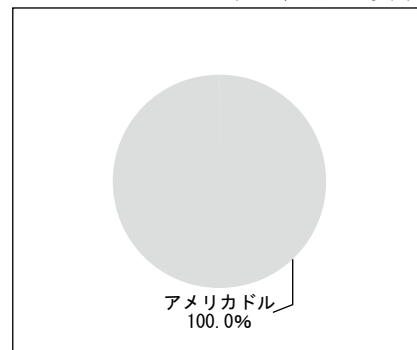
(2019年8月5日現在)



*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

【通貨別配分】

(2019年8月5日現在)



*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

【組入上位銘柄】

(2019年8月5日現在)

順位	銘柄名	通貨名	比率
1	EXXON MOBIL CORPORATION 4.114 03/01/46	アメリカドル	5.9%
2	WALT DISNEY COMPANY/THE 3.15 09/17/25	アメリカドル	5.8%
3	COCA-COLA CO/THE 2.875 10/27/25	アメリカドル	5.7%
4	JPMORGAN CHASE & CO 3.2 06/15/26	アメリカドル	5.7%
5	ALPHABET INC 1.998 08/15/26	アメリカドル	5.4%
6	MICROSOFT CORP 2.875 02/06/24	アメリカドル	5.3%
7	APPLE INC 2.85 05/11/24	アメリカドル	5.3%
8	COMCAST CORP 4.15 10/15/28	アメリカドル	5.2%
9	PROCTER & GAMBLE CO/THE 2.45 11/03/26	アメリカドル	5.2%
10	JOHNSON & JOHNSON 2.45 03/01/26	アメリカドル	5.2%

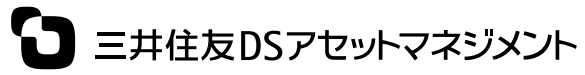
(組入銘柄数 20銘柄)

*比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

*全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

※基準価額の推移、1万口当りの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

※資産別配分、国別配分、通貨別配分、組入上位銘柄は組入ファンドの直近の計算期間末日のものです。



三井住友DSアセットマネジメント